



地に愛される鉄道であり続けるために 2019フラワー長井線まつりを開催

10月20日、宮内駅、長井駅、荒砥駅の3駅でフラワー長井線まつりが開催されました。

昨年、開業30周年を迎え平成を走り抜けたフラワー長井線。令和の時代も地元から愛され続ける鉄道を目指すために今年も盛大に行われました。荒砥駅でのイベントでは車両基地見学が行われたほか、愛真こども園の園児や白鷹少年少女合唱団、荒砥高校吹奏楽部などが参加し、バルーンゆうぎや合唱、演奏などを披露し来場者をもてなしました。

フラワー長井線は高校生の通学手段をはじめとした地元にとって貴重な交通手段であり、沿線の魅力を伝える観光列車です。皆さんでフラワー長井線を守っていきましょう。



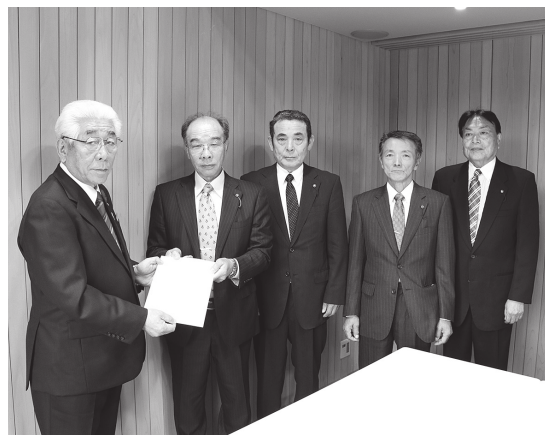
素敵な歌声を披露した白鷹少年少女合唱団の子どもたち



農地等の利用の最適化を図るために 農業委員会が「農業農村振興施策に関する意見書」を提出

10月30日、白鷹町農業委員会は「令和元年度白鷹町農業農村振興施策に関する意見書」を提出しました。

これは、農地等の利用の最適化を効率的かつ効果的に実施すること、また更なる施策の充実・強化が必要であることから行われているものです。近年、農業を取り巻く環境は大変厳しいものとなっています。そういった環境下で特に対策が必要となる「農業政策について」「有害鳥獣対策について」「農業生産基盤整備事業の推進について」「農業の担い手育成について」の4つの現状と課題を整理し、具体的な課題解決の方向性を示したうえで、そのための要望を提案しました。



意見書を佐藤町長に手渡す樋口太一会長と委員の皆さん



読書で得た感動・発見を文章に表現する 読書感想文コンクール表彰式

10月26日、白鷹町文化交流センターあゆむにて、読書感想文コンクールの表彰式が開催され、受賞した9名のうち8名が参加し表彰されました。

このコンクールは、読書の感動を文章に表現し、豊かな人間性や考える力を育むことを目的に毎年開催されており、応募された作品を審査したのちに童門冬二賞、生涯教育推進本部長賞、教育長賞、図書館長賞などが授与されます。

今年度は町内の各小学校、中学校、一般の方から46作品の応募があり、どの作品も本から得た感動を事細かに記されており、読書に対する関心や豊かな表現力がかがえました。



童門冬二賞を受賞した鮎貝小6年の黒澤侑華さん

災害に備えて障がい者支援施設間の連携を強化 白鷹陽光学園とこぶしの家で合同避難訓練を実施

9月21日、白鷹陽光学園とこぶしの家でグループホーム利用者を対象に水害を想定した合同避難訓練が実施されました。

両施設が鮎貝地区に所有するグループホームは、洪水ハザードマップ上早期の立ち退き避難地域に位置しており、災害発生時に両施設が連携して避難出来るようにと初めて行われた避難訓練です。鮎貝区長や町内長など地域の方にも参加していただき、避難完了を合図する黄色いバンダナを実際に掲げるなど地域の方に対しての周知も行われました。白鷹陽光学園の田苗和司園長は「避難完了まで30分を要してしまったなどの課題点も見つかった。災害発生時にグループホーム利用者がパニックを起こさないためにもこういった訓練は大切である」と話しました。

避難訓練終了後には、利用者同士の仲がより深まるようにと交流会も行われ、終始穏やかな雰囲気にも包まれました。



避難完了を合図する黄色いバンダナ



送迎車がグループホームに到着し避難を開始する様子

労災ゼロの職場をみんなで築いていこう 白鷹町建設業労働災害防止大会を開催

10月2日、パレス松風にて第22回白鷹町建設業労働災害防止大会が開催され、町内の建設業関係者約130名の方が参加しました。

本大会は、労働災害撲滅に向け、安全衛生管理の強化を行うために年1回開催されているものです。今回で22回目を迎え、大会が始まって以降白鷹町での労働災害は1件も発生していませんが、米沢管内では今年すでに2名の方が労働災害で亡くなられているということで、今後もゼロ災職場を目指し徹底した安全管理を行うよう、再確認されました。また、長井警察署長の熊坂嘉幸氏より、「管内の治安状況と今後の課題」と題した講演が行われ、身近にひそむ犯罪や交通事故の発生状況などについて学びました。



安全管理の徹底を呼びかける村上栄一建設木材部会長

紅花音羽屋より「紅花～お花のお茶漬け」が登場 やまがたふるさと食品コンクールで「優秀賞」を獲得

10月15日、山形県自治会館において令和元年度やまがたふるさと食品コンクール表彰式が開催され、紅花音羽屋さんの「紅花～お花のお茶漬け」が、優秀賞を獲得し、表彰状が送られました。

今年度「野菜・山菜・きのこ類部門」に応募があったのは22品。そのなかで優秀賞に輝いた「紅花～お花のお茶漬け」は、自家栽培した紅花とエディブルフラワー、国産野菜等が入った、紅色のきれいなお茶漬けで、効率よくビタミン等を摂ることができる食品となっています。見た目はもちろん、豊富な栄養素が含まれているバランスの良い商品です。



賞状を手にする紅花音羽屋の石井美由紀さん